Vol.6

弘前大学附属図書館　電子リソース活用のための使い方ガイド

Compass

Contents

◆無料で文献入手が可能！
～学術機関リポジトリ～

◆横断検索で抜け目なく

◆学外からも電子ジャーナルは使える？

無料で文献入手が可能！～学術機関リポジトリ～

これまで、大学の紀要は冊子体で刊行されることがほとんどでしたが、最近では全国の多くの大学で「**学術機関リポジトリ**」というシステムを運営し、その大学で発行された紀要や研究者の論文を電子化して公開しています。

図書館で借りる？コピーする？

「卒業研究のために沢山の文献を読まないと……。」「とりあえず、参考文献を辿って行ったら、〇〇大学の紀要だと分かったから、図書館の書庫で探してコピーとって……。」

ちょっとお待ちください！

紀要も電子化されています！

OPAC を検索して、図書館に目的の巻号の所蔵がなくても、まだあきらめないでください。

検索結果に「オンライン」の情報がついていませんか？

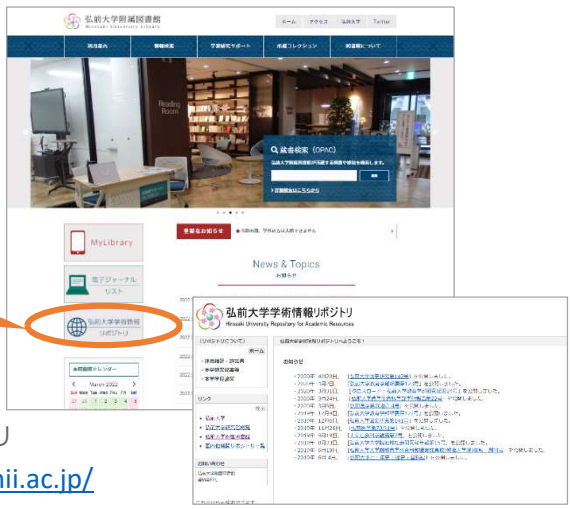
ほら、本文はもう、すぐそこにありますよ(^^)/

OPAC の検索結果から電子化された紀要へアクセス

附属図書館の所蔵情報を調べる蔵書検索 OPAC。**学術機関リポジトリ**で公開されている紀要については、この OPAC にも「**オンライン**」としてその情報をつけるように整備しています。

弘前大学学術情報リポジトリ

本学でも 2008 年から学術機関リポジトリを運営しており、現在の登録コンテンツ数は約 6500 件。本学の研究成果を学内外へ無料で公開しています。



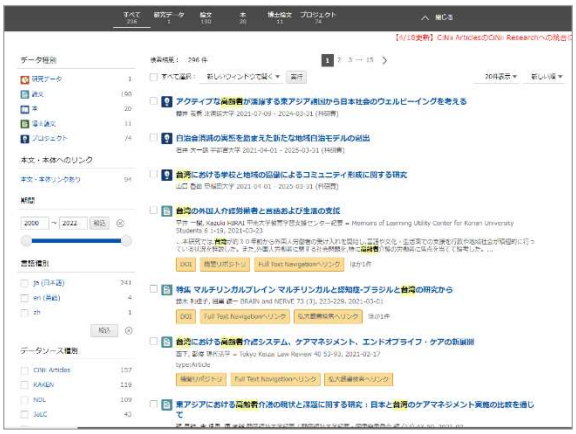
弘前大学学術情報リポジトリ
https://hirosaki.repo.nii.ac.jp/

横断検索で抜け目なく

CiNii なら、学術機関リポジトリもあわせて横断検索できます！

全国の多くの大学で学術機関リポジトリが運営されていますが、それらのデータは **IRDB 学術機関リポジトリデータベース**で収集され、**CiNii Research** に提供されているので、キーワード等を入れると日本中の学術機関リポジトリのデータも含めて**串刺しにして検索**してくれます。あらかじめ「本文あり」で絞り込んで検索すると、Web 上で一気に本文を入手することができます。もちろん無料！すぐに使えます。

CiNii Research　https://cir.nii.ac.jp/



卒業研究に最適！
電子図書館として活用できるのでおススメ。

◆◇学外からも電子ジャーナルは使える？◇◆

「リモートアクセス」で利用可能

学術機関リポジトリのデータは世界中に公開されているものなので、学外からでもアクセスできます。では、弘前大学で契約している電子ジャーナルは？

実は「リモートアクセス」といって、簡単な手続きをすることで契約している電子ジャーナルも学外からも利用可能になります。

リモートアクセスの詳しい紹介は以下のページに記載しています。一部対応していない製品もありますが、附属図書館では順次、リモートアクセスの整備を進めており、より多くの製品で学外からの利用ができるように取り組んでおりますので、ご活用ください。
https://ul.hirosaki-u.ac.jp/retrieval/resources/manual/

使い方ガイド「Compass」も随時更新中！

電子リソース活用のための使い方ガイド「Compass」は、「学外からの利用方法」や「オープンアクセス論文の探し方」など学修・研究に使えそうな話題を取り上げながら随時更新中。
https://ul.hirosaki-u.ac.jp/retrieval/resources/compass/

参考情報

IRDB 学術機関リポジトリデータベース
https://support.irdb.nii.ac.jp/ja
全国の学術機関リポジトリのデータがどのように収集されているか、解説が掲載されています。
（2020-4-22 Accessed）

CiNii Articles
https://support.nii.ac.jp/ja/cia/cinii_articles
CiNii Articles の概要が掲載されています。様々なデータベースの情報が統合されている巨大なデータベースであることが分かります。
（2020-4-22 Accessed）

問合せ

弘前大学附属図書館
資料管理グループ雑誌情報担当
Tel:
0172-39-3157
Mail:
jm3157@hirosaki-u.ac.jp

附属図書館 HP

https://ul.hirosaki-u.ac.jp/

電子ジャーナル・データベースに関する講習会・オンラインセミナーなどの案内も掲載中！